



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
 コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 元裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 溝口 健二 (TEL) 03-3820-1111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,402	△9.1	2,413	△8.2	2,328	△4.1	1,509	△3.7
2020年3月期第3四半期	41,135	1.4	2,628	△39.9	2,427	△42.6	1,568	△34.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,833百万円(△29.6%) 2020年3月期第3四半期 2,603百万円(△17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	146.23	—
2020年3月期第3四半期	149.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	121,304	42,236	32.7	3,838.66
2020年3月期	109,675	40,943	35.0	3,722.17

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 39,630百万円 2020年3月期 38,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△8.7	3,000	△8.7	2,820	△4.1	1,680	△8.0	162.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	11,344,181株	2020年3月期	11,344,181株
2021年3月期3Q	1,020,257株	2020年3月期	1,020,050株
2021年3月期3Q	10,324,034株	2020年3月期3Q	10,491,190株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルスの世界的流行による影響を引き続き大きく受けております。物流部門では一部に回復の動きも見られましたが、食品部門での落ち込みもあり、売上高は374億2百万円（前年同期比9.1%減）となり、営業利益は24億13百万円（同8.2%減）となりました。経常利益は前年度に計上した不動産開発に伴う資金調達費用の減少もあり23億28百万円（同4.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上の一方で減損損失の計上もあり、15億9百万円（同3.7%減）となりました。

②セグメント別の概況

〈物流部門〉

物流部門では、新型コロナウイルス流行の影響による国際間の移動制限や国際物流の停滞等により、海外引越や港運通関等の国際業務は大きな影響を受けておりましたが、一部に制限解除の動きもあり回復傾向となりました。また、国内業務においても、新型コロナウイルス流行の影響により業務用飲料等の荷動きは引き続き低水準となりましたが、その他の食品や家電製品等は持ち直し、さらに前年度下期に新設した営業拠点の本格稼働もあり、保管料・荷役料・運送料は増収となりました。この結果、売上高は167億51百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は18億45百万円（同0.1%増）となりました。

〈食品部門〉

食品部門では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施した外食業界での営業自粛や在宅勤務の推進等により販売が落ち込み、量販・外食向けである精米販売は47千玄米トン（前年同期比13.9%減）となりました。一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売も外食向け業務用米を中心に需要が低迷し、11千玄米トン（同35.5%減）となりました。さらに、需要の減少を受けてコメの取引価格も下落しました。この結果、売上高は170億39百万円（前年同期比19.0%減）となり、営業利益は2億63百万円（同39.1%減）となりました。

〈情報部門〉

情報部門では、新型コロナウイルス流行の影響等により、新規開発またはシステム改修案件の先送りや中止が発生し、棚卸用レンタル機器のユーザーにおいても棚卸の延期や中止が発生したことから、売上高は11億74百万円（前年同期比9.5%減）となり、営業利益は19百万円の損失（前年同期は33百万円の利益）となりました。

〈不動産部門〉

不動産部門では、日本橋兜町の大型開発案件「KABUTO ONE」が進行中ではありますが、ヤマタネ藤沢ビル及びヤマタネ五反野ビルが開業したこと等により、売上高は24億36百万円（前年同期比7.7%増）となり、営業利益は9億93百万円（同1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

資産合計は、食品部門の売上高の減少等により受取手形及び売掛金は減少しましたが、社債発行による現金及び預金の増加や不動産部門における再開発計画の進捗による有形固定資産の増加等により前連結会計年度末比116億29百万円増加し、1,213億4百万円となりました。

②負債

負債合計は、運転資金返済による短期借入金の減少はあったものの、不動産部門での再開発計画進捗に伴う長期借入金の増加や社債発行の結果、有利子負債が増加したこと等により前連結会計年度末比103億36百万円増加し、790億68百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益や時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加があったこと等から、前連結会計年度末比12億92百万円増加し、422億36百万円となりました。

この結果、自己資本比率は32.7%（前連結会計年度末は35.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高については物流部門では堅調に推移したものの食品部門において販売数量が計画に届かず全体では計画を下回りました。一方、営業利益及び経常利益は物流部門や不動産部門が堅調に推移したことにより計画を上回る結果となりました。更に親会社株主に帰属する四半期純利益は、計画外での投資有価証券売却益の計上により業績計画を上回る結果となりました。

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス流行による経済活動への影響が続く中、食品部門での販売への影響が懸念されるものの、物流部門や不動産部門が堅調に推移すると見込み、2020年11月6日に公表した連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,894	17,996
受取手形及び売掛金	6,865	5,650
たな卸資産	1,995	1,023
その他	2,306	3,884
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,061	28,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,039	14,455
土地	50,418	50,418
その他(純額)	8,667	13,115
有形固定資産合計	74,124	77,990
無形固定資産		
投資その他の資産	1,028	1,012
投資有価証券	11,834	12,111
その他	1,482	1,486
貸倒引当金	△97	△96
投資その他の資産合計	13,219	13,500
固定資産合計	88,372	92,503
繰延資産	241	246
資産合計	109,675	121,304
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,399	2,208
短期借入金	6,605	4,816
1年内返済予定の長期借入金	4,200	3,120
1年内償還予定の社債	1,775	1,053
その他	2,532	2,674
流動負債合計	18,514	13,873
固定負債		
社債	18,419	27,892
長期借入金	18,210	23,655
環境対策引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,685	1,655
資産除去債務	2,047	2,049
その他	9,851	9,940
固定負債合計	50,216	65,194
負債合計	68,731	79,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,747	3,747
利益剰余金	19,815	20,808
自己株式	△2,233	△2,233
株主資本合計	31,885	32,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,700	3,905
土地再評価差額金	2,872	2,872
退職給付に係る調整累計額	△30	△27
その他の包括利益累計額合計	6,542	6,751
非支配株主持分	2,515	2,606
純資産合計	40,943	42,236
負債純資産合計	109,675	121,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益	41,135	37,402
営業原価	35,862	32,412
営業総利益	5,273	4,989
販売費及び一般管理費	2,645	2,576
営業利益	2,628	2,413
営業外収益		
受取配当金	341	352
その他	29	20
営業外収益合計	371	372
営業外費用		
支払利息	422	406
シンジケートローン手数料	93	0
その他	56	50
営業外費用合計	572	457
経常利益	2,427	2,328
特別利益		
投資有価証券売却益	86	204
その他	1	2
特別利益合計	88	207
特別損失		
固定資産除却損	10	3
減損損失	-	90
特別損失合計	10	94
税金等調整前四半期純利益	2,505	2,441
法人税等	840	826
四半期純利益	1,664	1,614
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,568	1,509

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,664	1,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	932	215
退職給付に係る調整額	6	3
その他の包括利益合計	939	218
四半期包括利益	2,603	1,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,455	1,718
非支配株主に係る四半期包括利益	148	115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

当社グループは、前連結会計年度においては新型コロナウイルス流行による経済活動への影響は当連結会計年度の第2四半期末まで続き、その後収束に向かうとの前提に立って、会計上の見積りを行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において新型コロナウイルスの今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、外部の情報等を踏まえて当連結会計年度中は経済活動への影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	16,548	21,027	1,297	2,263	41,135	—	41,135
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	308	—	205	29	543	△543	—
計	16,857	21,027	1,502	2,292	41,679	△543	41,135
セグメント利益	1,844	432	33	978	3,289	△661	2,628

- (注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△670百万円及び未実現利益調整額4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	16,751	17,039	1,174	2,436	37,402	—	37,402
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	289	0	206	66	562	△562	—
計	17,041	17,039	1,380	2,503	37,964	△562	37,402
セグメント利益 又は損失(△)	1,845	263	△19	993	3,083	△669	2,413

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△679百万円及び未実現利益調整額5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連」セグメントにおいて、建物及び構築物の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては90百万円であります。